

2012年12月20日

## 公益財団法人オイスカ主催の「子供の森」計画に寄付

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）では、グループ従事者対象の環境保全キャンペーンの一環として、公益財団法人オイスカ<sup>\*1</sup>が主催する「子供の森」計画<sup>\*2</sup>に239,060円を寄付しました。公益財団法人オイスカへの寄付は、4回目となります。

当社は、グループ従事者の環境保全意識の啓発を図る目的で、1994年から国の環境月間である6月に、「3R」、「レジ袋の削減」、「生物多様性」などタイムリーなテーマで「環境保全キャンペーン」を、継続実施しています。

今年度で第18回目となる当キャンペーンは、累計で13万人を超えるヤクルトグループ従事者が参加し、着実な意識啓発が図られています。

今年度のキャンペーンは、ヤクルトグループが企業として「グリーンウェイブ2012<sup>\*3</sup>」に参加し全国18か所で植樹を実施しました。また、従事者を対象に「緑を増やすためのメッセージ」の募集や「森林に関するクイズ」を実施し、クイズの総正解数×2円で計算した金額を、フィジー諸島共和国ビチレブ島で行われる公益財団法人オイスカの「子供の森」計画活動資金として寄付しました。

当社では、今後もグループ全従事者一人ひとりに環境教育を徹底し、環境保全意識の向上に取り組んでいくとともに、社会貢献意識の啓発を図っていきます。

なお、今年度の「環境保全キャンペーン」の概要は下記のとおりです。

※1：公益財団法人オイスカは、アジア・太平洋を中心とした地域で、農村開発、人事育成、緑化運動を推進している国際NGOです。

※2：「子供の森」計画は、子供たち自身が、学校の敷地や隣接地に苗木を植え、育てていく活動を通じて「自然を愛する心」、「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうというプログラムです。1991年に始まったこの活動は、29の国・地域の4,534の学校で実施されています（2012年3月末現在）。

※3：「グリーンウェイブ2012」は国連が定める国際生物多様性の日（5月22日）の現地時間午前10時に各国の企業、学校、市民が植樹等を行う地球規模のキャンペーンのことで、国連が呼び掛けをして、日本では環境省、農林水産省、国土交通省も参加を推奨しています。

## 記

<2012年度「ヤクルト環境保全キャンペーン」の実施概要>

1. キャンペーン名称：「身近なところから緑を増やそう！

～ヤクルトはグリーンウェイブ2012に参加します～

2. 期 間：2012年6月1日～6月30日（1か月間）

3. 対 象：ヤクルトグループ全従事者

4. 実 施 内 容：(1)「グリーンウェイブ2012」へヤクルトグループでの参加

①東京都国立市との「植樹」に関する協働活動

②グループ内工場（17工場）で「植樹」を実施

(2)従事者のキャンペーンへの参加

①「森林に関するクイズ」にチャレンジ

②「緑を増やすために今わたしができること、したいこと」についてのメッセージ募集

③「グリーンウェイブ2012」へ個人での参加

以 上